

令和2年度 第5回花き技術向上研修を開催しました

「寒小ぎく・寒スプレーギクの品種特性と栽培技術について」

1 開催日時

令和2年12月3日（木曜日）10時00分～15時30分

2 内容

出席者数：花き生産者など51名、種苗会社2社3名

(1) 実証展示品種の生育開花状態の展示

栽培圃場の概要（農大職員）

場所：切花3号温室

(2) 種苗会社の展示コーナー

品種の特徴説明（種苗会社2社）

場所：切花4号温室

新型コロナウイルス感染症対策として、栽培実証圃場と種苗会社の展示コーナーの時間予約制の見学研修とし、1組当たりの見学時間を10分（個人）～15分（団体）として実施しました。

展示した36品種38区画のうち開花品種数はイノチオ精興園7品種、山手秀芳園3品種で、未開花品種については、種苗会社が持ち込んだサンプルを参考に見学研修としました。

栽培圃場の生育状況については、定植直後の不順天候対応で徒長気味となったため、ビーナイン散布回数を前年よりも増やしたところ、寒小ぎくの草丈が短くなったことを説明しました。

個別に説明、相談するなかで、各生産者の実情を確認することができました。

種苗会社の展示コーナーを設けた切花4号温室では、各社の寒小ぎく、寒スプレーギクの有望品種について特徴等が説明されました。



参観者見学状況



展示コーナーで種苗会社から説明